

令和7年度

第3回学校運営協議会 議事録

○期 日：令和8年2月17日（火）

○時 間：10時00分 ～ 11時30分

○場 所：プレイルーム

○出席者：学校運営協議会委員 8名

- A委員（教育関係者）
- B委員（社会福祉関係者）
- C委員（地域関係者）
- D委員（地域振興関係者）
- E委員（生徒保護者）
- F委員（地域企業関係者）
- G委員（町内会関係者）
- H委員（福祉施設関係者）

学校関係者 10名 校長、副校長2名、事務長、総括教務主任、
小学部主事、中学部主事、高等部主事、寮務主任
生活指導部長、進路部長、

<会議次第>

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 今年度の地域との連携、協働の状況について
- 5 協議
 - ①学校評価について
 - ②令和8年度の学校運営について
- 5 提言
- 6 閉会

1 開会

2 校長挨拶

- ・日頃から本校を支えていただき感謝している。現在、津波や地震、林野火災等の防災に努めている。
- ・地域と一体になった学校づくりを進めたいので、御意見をいただきたい。
- ・高等部の作業学習で、地域の方から指導を受けながら作業を進めている実践が「内外教育」に紹介された。

3 会長挨拶

- ・1年間ありがとうございました。子どもたちの指導がどうあればよいか、来年度につながる意見をいただきたい。

4 今年度の地域との連携、協働の状況について

【9月からの実践】

- ・堀切町、田屋町みこし交流
- ・侍浜小学校交流
- ・拓陽祭
- ・久慈翔北高校との交流

【熟議の成果について】

- ・多面的な委員の皆様から意見をいただいた。それぞれに理解が深まった。
- ・いじめのテーマは学校課題として貴重な意見をいただいた。
- ・来年度のテーマについては資料の通り五つにまとめた。あらゆる方法で情報発信し、できることを無理せず行うことが地域とともにできることだと考えている。
- ・(近隣中学校の閉校に伴い) 中学部の交流については今後どう充実させるか考えていきたい。
- ・今年度生活指導通信を発行した。
- ・作業学習の販売や清掃について、実態に応じて来年度考えていきたい。御意見をいただきたい。
- ・地域からの要望を聞いて方向性を出していくことを大事にしていきたい。それによって共生社会が生まれると考えている。

5 協議

①学校評価について

○副校長からの説明（資料に沿って説明）

- ・肯定的な評価が向上している。
- ・各部署で対策を検討し、次年度に反映させたい。

《生活指導部補足》

- ・提言を受けて、生活指導通信を今年度から発行した。1号はいじめ防止基本方針、2号は具体的な取組、3号でその様子の紹介を行った。小中高の児童生徒会でいじめ防止の動画を撮影した。児童生徒が自分たちでテーマ設定し、全校集会で発表した。今後もいじめ防止の発信を続けていきたい。
- ・アンケートの中で保健に関わる要望もあったので今後考えていく。

《高等部補足》

- ・保健、安全への配慮について検討している。
- ・生活についての指導は、体重測定後や学部集会で行っている。
- ・食育と性教育については全体と個別指導のバランス等、学部懇談でニーズを踏まえて取り組んでいきたい。
- ・PTA活動については学年ごとに取り組んでいる。保護者交流会を今年度4回行い、サイコロトークや楽器演奏（トーンチャイム）を行った。

○質疑

《職員アンケートについて》

- ・〔副校長〕内容や目的の重なる行事を整理してきた。教師のタイムマネジメントのためタイムカードを導入している。月半ばで残業時間を知らせ、自分で時間管理ができるようにしている。子どもにとって何がなかを中心に見直しを進めている。会議の数や時間も減ってきた。
- ・〔副校長〕その時の教師の状況に合わせてアドバイスをしている。個々の残業時間は減っている。
- ・〔D委員〕測量や設計をやっているが、技術職は残業が多くなりがちである。専門的なところはどうしても増えてしまう。拓陽は時間外在校勤務が改善されているのですごいと思った。
- ・〔副校長〕行事が終わったらすぐに引継ぎ資料を作るなど仕事の属人化を防いでいる。
- ・〔A委員〕多忙と多忙感は違う。多忙感を減らすために悩んでいる。管理職と教諭との意識が異なっている。一人一人把握したいが、組織が大きいとなかなか難しい。

《保護者アンケートについて》

- ・〔A委員〕本校では評価が低く悩んでいる。拓陽は評価が高いので理解が進んでいるとうらやましく思う。PTAの活発度は委員から見てどうか。
- ・〔B委員〕情報発信については教員よりも保護者の方が高い。必要な情報行き渡っていると思う。
- ・〔副校長〕自身の担当する学部を見る限り、都度学習の様子を伝えてと思う。情報提供にマチコミも利用している。
- ・〔A委員〕PTA活動を活発にするにはどうしたらよいか。
- ・〔E委員〕中学校までは子どもと親の顔が一致していた。高等部から入学したが、この学校では親同士の交流は少ないと感じた。情報についてはよく発信してもらっているので安心している。
- ・〔A委員〕保護者同士のつながりを作ることは今は難しく、大きい学校ではなかなか集まっただけでない。PTA活動を活発化するのは難しい。関東ではやらない方向で進んでいる。保護者から具体的な要望を出してもらえるとよいのではないかな。

《高等部生徒アンケートについて》

- ・〔A委員〕昨年底かったいじめの部分は1年でしっかり評価に出ているのですごいと思う。寄宿舎については何があったか具体的に把握しているか。
- ・〔寮務主任〕自分から悩みを寄せられない子もいる。改めて職員間で話を聞く機会を増やそうと話している。
- ・〔A委員〕6.3%なので一人の意見だと思う。全体として評価は高いので大きな問題はない。
- ・〔B委員〕母集団が少ないので気にする必要はない。中高生の思春期では、その時の思いで数字もぶれる。
- ・〔A委員〕次年度も引き続き手厚くしていただきたい。

《その他》

- ・〔B委員〕相談支援はいつからやっているのか。
- ・〔校長〕特別支援学校のセンター的機能として平成19年から地域支援を行っている。
- ・〔C委員〕侍浜町は人口減、高齢化が進んでいる。もっと地域とつなげていけるようにしたい。

振興協議会を中心にやっていきたい。

- ・〔F委員〕アンケートについては何を聞くかが難しい。昨年度と比較したいものは残していいが、内容は変えてもよい。アンケートが形骸化しないようにしたい。
- ・〔副校長〕質問の重要度が高いかどうかの検討はしている。
- ・〔F委員〕アンケートで質問することで相手に気づきを与えるということもある。
- ・〔A委員〕本校では年2回行っている。1学期と2学期で結果が全く違う。子どもの流れを見るのであれば、短いスパンでアンケートを取るのもよい。

②令和8年度の学校運営について

- ・4つの星で示したところが今年度の重点である。1つめは3年間の研究テーマを意識して取り組むために設定した。2つめははじめの評価が低かったため、双方向の関わりになるように設定した。3つめは年々評価が上がっているので継続して取り組んでいく。4つめは昨年度から追加された項目。継続的に取り組んでいく。

6 提言

- 【B委員】年々学校の対応が向上しているように感じる。特に情報提供について。引き続き情報を共有していきたい。
- 【C委員】11月の侍浜まつりでは展示をいただき感謝している。展示や販売の機会ももっと取れると思う。来年度も検討していただきたい。
- 【F委員】先生方の中で働き方を変える意識が高い。やめる、変えるにはパワーが必要。勇気をもって続けてほしい。主体は子どもたちだが、先生がいきいきと働ける環境を作ってほしい。
- 【D委員】今年初めて拓陽祭を見て、素晴らしいと感じた。振興協議会も協力できることをしていきたい。
- 【H委員】学校評価の内容を見て、保護者、子どもからの評価が高い。全体ではこの通りだが、個人の対応については必要な子もいると思う。個人を大切にしてほしい。
- 【G委員】秋まつりができてよかった。親との交流がないのが少し寂しい。幅広く地域の方と交流ができればよい。
- 【E委員】今年卒業だが、拓陽に通ってよかった。先生方がすぐに対応してくれる。進路に向けて、できないことを繰り返してくれる。翔北高校との交流もよかった。もっと地域の交流ができるとよい。
- 【A委員】3回の協議会で熟議もし、意見を取り入れていこうという姿勢が素晴らしい。先生方は苦勞していることもあると思うので、今やっていることを充実させてほしい。地域の小中学校からすると特別支援教育の分野で拓陽を頼りにしている。今後とも特別支援教育の要としてよろしく願いたい。
- 【校長】今後の方向性について貴重な意見をいただいた。参考にさせていただきたい。保育園、小学校、中学校、高校でも支えが必要な子どもがたくさんいる。支援の方法もたくさんある。卒業後も施設との関わりもある。地域の子どもたちをずっと見ている立ち位置の学校である。ぜひ今後ともよろしく願いたい。

7 連絡

- ・次年度の委員の継続について個別にこの後相談したい。

8 閉会